

八千代区地域協議会 記録

平成28年12月14日(水)19:30～20:42
八千代プラザ会議室3

◆出席者（敬称略）

杉山 博会長、宮崎八千代副会長、河崎 貢、白石千恵美、門脇教蔵、岸本賢一、
伊藤雄基、数原雅史、川上大輔、河崎富也
岸原教育長、こども未来課 今中、市位
藤本八千代地域局長、松本課長補佐

■主な意見と内容

・説明資料のQ&Aは、どこで出た質問に対する回答なのか。この資料は初めて見る資料だが、説明会用の資料か。また、これまでの懇談会開催の経緯を教えてほしい。

→今年1月から二十数回にわたり地域や保護者の皆さんとの懇談を重ねてきた。懇談会で出た主な質問と回答を載せている。懇談会用の資料であるが、多可町教育委員会ホームページで公開している。また、これまでの経緯と懇談会記録はホームページに掲載しているが、両園の保護者の皆さんと、また地域の皆さんと、またこれからキッズランドに通われる未就園児の保護者の皆さん、地域協議会等と懇談会を開催した。

・平成29年3月議会に民営化についての議案を上程すると説明があったが、それは町民の合意が得られたので、上程するということか。

→懇談会を開催するなかで、公私連携方式でなら概ねご理解をいただくことができたという理解した。これまでの経緯、また会場で出た意見を子ども・子育て会議で委員にお伝えし、11月1日に開催の第12回子ども・子育て会議で採決を取った。その結果を受けて、これから3月定例会に向けて調整をしていきたいと考えている。

・本日の会議で出た意見は、聴いてもらえるのか。3月議会に向けて、私たちの反対意見をまとめて、町へ提出することは可能か。

→もちろんご意見を聴かせていただくために、ここに来ている。本日いただいたご意見もまとめて、大切なご意見として議会への提出を考えている。地域協議会が意見をまとめて町へ出されることについては、可能である。

・地域協議会には諮問しなかったのか。

→今年1月の段階で、地域協議会事務局の町地域振興課に確認をしたが、諮問事項ではないという回答を得た。加美区と中区の地域協議会から説明と懇談の依頼を受けたので、両区とも今年2月に懇談会を開催した。八千代区地域協議会だけ開催しない訳にはいけないので、地域局長に3～5月あたりの懇談会開催を申し入れていたが、本日の開催となった。本当は6月の「地域との懇談会」までに開いてほしかった。

・最初から民営化が決まっていて、ルールに沿って物事を進めているのではないか。また運営法人についても、中区の3園に決まっているような話も聞くが、水面下で調整をしているようなことはないか。町外の法人でもよいのではないか。

→決して最初からすべて決まっている訳ではなく、皆さんとの懇談を開催していくなかで、方針を決定していきたいと考えている。受けていただく法人がなければできないことであるし、また法人から応募がたくさんあったとしても、住民の委員からなる選定委員会で「ふさわしい法人なし」という判断になれば実現できないと理解している。町内の法人で保育所等の運営実績があるところは、中区のみどり、あさか、四恩こども園、八千代区のらくえん、そして加美区の千ヶ峰会の5法人である。保育所等の経験はないが、中区の法人からぜひ参加させてほしいという申し出があり、子ども・子育て会議で協議の結果、スタート地点に立っていただくことはよいのではないかとということになり、北はりま福祉会、那珂の郷の2法人を加え、町内7法人で今のところ考えている。保護者懇談会で「近隣市の法人も含めては」というご意見もいただいたが、多可町の子どもたちを責任感と使命感を持って末永く教育・保育をしてもらえる町内の法人に限定しては、との結論に至った。

・キッズランドの正規職員の割合が約3割ということだが、町は合併当初から民営化を見込んで正規を採用していないのではないのか。正規を採用せずに、嘱託職員で安く済ませ

ている、教育にお金をかけていないということではないのか。

→ご指摘のとおり町は合併当初から、正規の保育士・幼稚園教諭の採用は行わない方針を出し、多可町行財政改革大綱に沿って民営化の計画を検討してきた。国からの支援をうまく受け、教育・保育の質を高めていくことを目標に取り組んでいることをご理解いただきたい。

・平成29年3月に民営化が決まったとして、今後のスケジュールを教えてください。

→平成29年6月くらいに運営法人を公募し、7月にプレゼンテーション、9月くらいに法人の内定を行いたい。平成29年度は法人を決めるということになる。30年度は、法人が決定したことを受けて、法人からキッズランドへ保育教諭の派遣(合同保育)を行い、31年4月に民営化の実施を計画している。もちろんその間に、保護者説明会は入れていく。平成31年度は、両こども園へ町職員という立場で所長1名、保育士1名を2～3年程度派遣したいと考えている。スムーズな移行ができるように、引継ぎ保育を計画している。

・キッズランドかみは、建ってからまだ5年である。それなのに、どうして民営化なのか。子どもの数がどんどん減っていくことは分かっているのに、それなら八千代と一緒にして施設を1つ造ってもよかったのではないのか。将来を考えて、やっているのか。

→キッズランドかみがオープンしたのは、平成23年4月。実は、計画の段階である平成21年、22年当時から民営化も視野に入れてキッズランドかみを建設した。町教委では10年後、20年後、30年後の児童数の推移を見込んでおり、30年後も加美区1園、八千代区1園、中区3園で運営できていく数字を予測している。ちなみに、キッズランドやちよ(八千代区)は現在は約150名であるが、30年後は83名と予測している。

・民営化になれば、経費の節減になると説明があったが、公立運営と民間運営の違いは。

→公立園には交付税措置があるものの、国からの直接的な運営補助はない。一方、民間の保育所、認定こども園等には見える形で運営補助がある。子ども1人に対して年齢ごとに単価が違い月額いくらで補助金が出る。園はそのなかから保育士の給与、施設の維持管理費などを支払っている。運営補助金は、国が1/2、県が1/4、町が1/4を負担している。また、民間園には施設の建設、改修をする際にも補助金制度があるが、公立園にはない。

・経費の節減ができた部分は、確実に子どものために使ってもらえるのか。加美区や八千代区の子どもたちに還元されるのか。

→いくら節減できたので、加美区と八千代区の子どもたちに限って還元することはできない。多可町で子育てしやすいように、また多可町の子どもたちがより質の高い教育・保育が受けられるように、子ども・子育て会議を中心に、また保護者の皆さん方のご意見もお聴きしながら検討していきたい。

・公私連携ということだが、将来に渡って、30年後も町はきちんと意見を言えるのか。

→公私連携の協定を町と法人が交わすことになり、ずっと将来に渡って協定を守っていく。もちろん町から意見が言えるし、言っていく。協定書の内容は、今後十分に議論していきたい。

・4, 5歳児の保育料無償化は、もう決まっているのか。

→子ども・子育て会議として方針を検討し、これから議会と調整をしていく。平成29年3月議会で平成29年度予算として承認をいただきたいと考えているので、議決されれば平成29年度からの実施となる。

・多可町の子どもの数がどんどん減っている。子育てしやすい町として、より多くの若者に住んでもらうために0～3歳児の保育料の軽減は考えているのか。

→お子さんが小さいうち、つまり2歳児くらいまではできるだけご家庭でみていただくことが望ましいと考えている。0～2歳児を無償化にすると、入園希望が増えすぎてお預かりできなくなることも予想される。しかしながらすべての家庭が自宅で保育できるという訳ではないので、0～3歳児についても保育料の軽減も含めて子ども・子育て会議で引き続き検討させていただきたいと思う。子育てしやすい町、多くの若者が住む町をアピールすることはとても大切であるので、広報のあり方も含めて検討させていただきたい。

・法人が受けるということは、法人の会計で収支決算をするということになるのか。

→社会福祉法人の会計で運営をしていただき、決算をしていただくことになる。

・土地は有料賃貸、建物は無償譲渡という案だが、建物を法人に譲渡した後に、もしも法人が撤退することになったら、建物は町に戻すことができるのか。

→そんなことがあってはならないが、もしそうなった場合は町へ建物を返還していただき、町が責任を持って運営していくことになる。

・子どもの数がどんどん減っていくのに、法人として経営が成り立つのか。撤退してしまうのではないのか。

→子どもの数が減っていても、園の定員が下がれば児童1人あたりの単価が上がることになるので、運営でなくなることはまずない。国が示した単価があるので、法人にとって必ず利益が出るように設定してある。

・正規職員は全員が役場の一般事務職に異動してしまうのか。正規職員の率が上がるとあるが、どういうことなのか。

→民営化が決定すれば、職員1人ひとりと調整をすることになるが、ほとんどの正規職員が役場の一般事務職に異動になると予想される。どうしても保育現場に残りたい人は、法人に採用してもらうことになる。両キッズランドの職員のうち7割が嘱託であるが、嘱託職員のほとんどに残っていただき法人の正規職員として採用してもらうように調整したいと考えている。そうなれば、今よりも正規率は高くなると考えている。

・民営化になっても、保育料が高くなることはないのか。4，5歳児の無償化は続くのか。

→保育料は町内統一料金として町が決めているので、民営化になったからといって高くなることはない。町内4，5歳児の無償化は続けていきたいと考えている。

・名称は、どうなるのか。

→慣れ親しんでいただいている「キッズランドやちよ」を継承したいと考えている。

・プロポーザルはどのような方法で行うのか。

→保護者の方からご意見をいただき、法人のプレゼンテーションとヒヤリングは公開で実施する方向で検討している。ただし選定委員会(審査会)は非公開で考えている。